

会 議 録

| | | | |
|------------------------|---|--|----|
| 会議名 (付属機関等名) | 川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和元年度第5回A部会 | | |
| 事務局(担当課) | 総合政策部 参画協働課 | | |
| 開催日時 | 令和2年1月20日(月) 午後6時00分から午後8時10分 | | |
| 開催場所 | 川西市役所 5階 503会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 藤本真里(部会長)、乾美由紀、加門文男、久保圭志、田中真、 名木田絢子、西村牧子、三善知子 | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 総合政策部参画協働課 課長補佐、同課主任2名 | |
| 傍聴の可否 | 可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | <p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) A部会のテーマ 「(地域・市民活動に対して、)やる気があり積極的だが 取り組めていない人を巻き込んでいくには」</p> <p>3 閉 会</p> | | |

1 開 会

○事務局

以下の2点について、事務局から説明。

(1) 職員研修について

毎年実施している「参画と協働の職員研修」へご協力いただきたい。2月17日の部会への職員参加、2月下旬又は3月中旬に職員との意見交換会(クロストーク)への協力である。

(2) A部会の提言書(案)について

B部会の釜本委員から「A部会の意見もB部会が作成している提言書に組み込みたい」との意見があり、A部会の提言書(案)を作られている。ニュアンスや意味の取違いなどないか確認いただきたい。

○藤本部部长

- ・ 提言書(案)については、ご意見があれば、概ね1週間を期限に事務局へ連絡してください。

2 議 事

(1)「(地域・市民活動に対して、)やる気があり積極的だが取り組めていない人を巻き込んでいくには」

○藤本部部长

- ・ サンプルで作成したカードを増やしていく一方で、3月末には一定のまとめを作っていくということだが、具体的にはどんなイメージだろうか。

○事務局

- ・ 3月末時点では、報告書や指針といった形式に縛られる必要はないが、第三者が見て「何故、この提案にいたったのか」がわかるものを簡単にまとめてもらいたい。
- ・ 6月末時点で、カードの活用法など3月末のまとめを深めることが出来れば、提案に広がりができるのではないか。

○藤本部部长

- ・ A部会とB部会の内容を無理にまとめる必要はないと考える。報告書などの体裁に力を注ぐよりも、どんなツールをどのように活用するのかに、皆さんのアイデアをいただきたい。
- ・ この部会の提案が、市民の意見を行政の施策に活かしていく一つの流れを作る。そして、提案の後、行政がどう動けばいいのか、市民がどう反応するのか、どういう流れになっていくのが良いのかまで提案できれば、非常にいいものになる。

(本日の議論について)

○藤本部長

- ・ 困っている人の面には具体的なペルソナを、反対の面にはその人をお誘いしたい団体(自治会やコミュニティ)、その人を支えたい団体(市民活動センターや市民団体)などが、アドバイスや自身のPRを記載するスタイルがサンプルであった。
- ・ 各委員がペルソナ(仮想の設定)を立てて、意見を出し合おうと思う。

(各委員の発表)

A委員の発表

表: 女性、40代、フリーランスで働いている、子ども1人(14歳の中学生の女の子)

モヤモヤ: 子どもの手が離れ仕事に集中したい、ママ友と会う機会が減ってきた

PTAの役がやっと終わり自分の時間が欲しい

裏…PTA・ボランティア

メッセージ: 仕事のキャリアや実績にも使える、感謝される機会が増える

誰かのお母さんではなく〇〇さんと認められる、交通費が出る

子育ての相談が出来る場所

- ・ PTA経験者をもう一度引き込む想定のカード。仕事をしているので、お金のことは出るなら出る、出ないなら出ないと明記する。
- ・ PTAなどが裏面のメッセージを「考える」という行動が大切だ。

B委員の発表

表…男性、30代半ば、会社員、子どもがいる

モヤモヤ:仕事があるので集まりに参加しにくい、土日は家族と過ごしたい

イクメンパパと呼ばれるプレッシャー

裏…地域団体

メッセージ:同世代の同じような人が集まれる環境、子どもも一緒に連れていき遊ばせられる

ファミリーで参加OK、パパ友も出来る

C委員の発表

表…男性、30代、子どもがいる

モヤモヤ:妻にママ友が出来て置いてけぼりのパパ、近所に友達が欲しい、

地域のことももっと知りたい、子どもも一緒にイベントに連れていきたい

裏…消防団

メッセージ:活動は月に2回、参加できる時だけの参加で大丈夫、筋トレ・走り込みはしない、

参加自由の旅行がある、報償がある、地域に役立てる、地域のイベントにも参加

- ・ 入ろうとする側からすると、消防団のイメージは悪い。上下関係や訓練が厳しいなど。
- ・ 男性に向けては、活動時間や報償の明記は大切だ。
- ・

D委員の発表

表…女性、子どもがいる(小学5年)

モヤモヤ:子どもが卒業するとママ友と会う機会も減り、人と話すことも少なくなりそう

裏…コミュニティ

メッセージ:他の子どもに関われる、PTAなどこれまでの経験が生かせる、

仕事以外の達成感、多世代との交流、先輩主婦との交流

E委員の発表

表…女性、40代、パートで働いている、子どもがいる(中学生、高校生)、

モヤモヤ:子どもの手が離れ時間の都合がつくようになってきた、

ママ友との距離が少し離れ新しい刺激が欲しい、ちょっとくらいなら手伝える

裏…福祉委員会のふれあい喫茶、放課後子ども教室

メッセージ:具体的な手伝ってほしい内容・きちんとした役割、早めの連絡、

多様な価値観に触れ合えるチャンス

- ・ 「いてくれるだけでいい」という声掛けは良くない、次から来てくれなくなる。
- ・ 手伝ってくれた人への感謝の気持ちをちゃんと伝える。

F委員の発表

表…男性、定年直前、

モヤモヤ:定年してから何もすることがない、妻は地域につながっている、会社仲間は疎遠に

趣味を持っていない、体力には自信はあるんだが

裏…コミュニティ

メッセージ:自分の家に居場所はありますか、時間の過ごし方はわかりますか

得意なことを自慢しましょう、子どもたちに自慢しましょうよ

G委員の発表

表…女性、20代、会社員、既婚者

モヤモヤ:平日昼の会議は参加できない、休日はしっかり休みたい、ご近所と仲良くなりたい

多世代の人と交流したい、ご近所の情報(お店や病院)が欲しい、

職場以外のつながりが欲しい

ここにずっと住むかもわからないから気軽に関わっていいものか

裏…コミュニティ

メッセージ: 平日の夜に交流会をやっている、お袋の味教室やります、交通費が出る
出来るときに出来ることだけを手伝ってくれるだけでも大丈夫
ボランティアの参加希望を受け付ける明確な連絡先(電話・メールアドレス)
今募集中のボランティア一覧

(発表を受けて、各委員の意見)

- ・ 作ったカードを提示するよりも、当事者が「カードを作る」ことが大切だ。
- ・ 表と裏に記載する例示を示して、当事者自身が考えて作る方がよい。
- ・ 裏(団体側)を書く人が、自身の活動前を振り返って、良かったことなどを書いてもらいたい。
- ・ カードを作るプロセスはどんなイメージだろうか。単に作ってくださいでは、考えて書かない。何らかの動機づけが必要だ。このあたりを報告書にまとめて、カードというツールの例示を提案し、是非使ってくださいという流れはどうだろうか。
- ・ コミュニティで作る場合は、総会や運営委員会の場で作るよりも、体育部会や文化部会といった部会ごとにターゲットを絞って作る方がいい。
- ・ 3月から6月にどこかの地域に出掛けて、ワークショップ形式で一緒につくるのはどうか。
- ・ 一緒に組織を変えませんか、風穴をあけませんかと投げかけてはどうか。
- ・ 地域では「変えたい」と言いつつも、上の世代はしんどいから変えたくない。本当に手を挙げてくれるだろうか。
- ・ 新しいことを始めないからいつまでも後継者ができない、代替わりできないから新しいことも始まらない。
- ・ コミュニティ協議会連合会の研修会の場で、カード作りのワークショップをやってはどうか。
- ・ 会長をはじめ役員が多く出席されるが組織を抱えているので、新たな取り組みは難しいのではないか。
- ・ 研修会の場では、仮のワークショップとして盛り上がるが、それで終わってしまいそう。
- ・ 作ることが負担にならないように、テンプレートを提示するなど工夫が必要だ。
- ・ 「自分自身を整理して、あなたのカードを作ってみませんか。」という今日話し合ったことを

繰り返していけば、新しいつながりが出来ていくと思う。

- ・ 知らない人にもわかりやすいカードの名前を考えたい。
- ・ 「まちづくり」と言うとハードルが上がってしまうし、「参画と協働のカード」と言っても響かない。
- ・ コミュニティが難しければ、知り合いのNPOや小さな団体とでも一緒にやってみるのもいいと思う。自分を整理する、本物のカードを作る、作ったカードの発信の仕方やSNSなどで発信する。こういった流れが成果になる。
- ・ 3月の報告イメージは「現状・課題、解決のためのトラップカード作り、カードの見方・活用方法、例示のカード集」で、4・5月で何かしらワークショップをやってみる。ワークショップ参加者の意見や感想を聞いてみるはどうだろうか。

(次回の進め方について)

○藤本部長

- ・ 次回は3月のまとめを作っていく。現状・課題からカードまでの提案を私が、カードの見方・活用方法やカード集を皆さんで考えてもらいたい。
- ・ 次回までに今日のようなアイデア、カードの見方、活用方法などをまとめておいていただきたい。
- ・ 研修生については、カード作りに参加してもらいたい。

3 閉会

第6回は、2月17日(月)18時からで、会場は503会議室の予定。